

平成 27 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市中村地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ・ 中村地区の人口は約 15,500 人、15 歳未満は 1,400 人、65 歳以上は 4,500 人で高齢化率は 28,8%です。総世帯数は約 8,610 世帯、一世帯当たりの平均人員は 1.81 となり独居世帯は増加傾向にあります。
- ・ 戸建ての住宅密集地であり狭小住宅が多く、地区の北部は首都高速狩場線が跨いでいます。中村川に面した周辺エリアは、平坦地のため買い物を含め生活しやすい環境です。一方、丘陵地にある唐沢・平楽地区は急こう配の坂のため行き来が難しいほか、商店が地区内にほとんどないため、買い物などでは急坂を下りなければならず、ライフラインである公共交通機関は一路線バスのみで高齢者にとっては買い物、通院などに苦慮している場面もあります
- ・ 地区内には区民利用施設や福祉施設（母子生活支援施設、更生施設、高齢者施設、地域活動ホーム、地区センター）、隣接エリアに複合福祉施設などがあり、徒歩圏にケアプラザが数か所あり、地域住民は上手に使い分けて利用しています。ウォータープラザの整備、区役所の移転で一層便利になり住民の期待は大きいものがあります。
- ・ 我が国の都市部共通の課題と言ってよいかもしれませんが、当地区においても地域活動の主な担い手の高齢化と、次代を担う後継者が育成できていないことが課題です。活発な地域活動を継続させること、また現状に即した地域活動へ移行するにはあらたな人材を発掘することが急務です。
- ・ 地区社会福祉協議会の第 3 期地域福祉保健計画スローガンは「小さな輪を大きな輪へ！～広げよう地域の和～」です。今後は活動を地域に広げる支援が必要と思われます。
- ・ 27 年度は中村地区社会福祉協議会の活動強化の支援を行いました。28 年度も地域福祉活動の和を広げるよう継続して支援をします。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・ 市民利用施設として安全性の確保と、良好な機能の保持を目的として、建物・設備の適切な維持管理を行います。建物・設備の保守点検及び清掃はそれぞれ専門の管理保守業者に委託し、さらに設備総合巡視点検業者による月 1 回の点検を実施して安全を確認しています。
- ・ 施設の運営に支障をきたさないように建築物や設備等の破損または汚損に対する予防保全に努め、破損または汚損を発見した際には、速やかに回復または保全する措置を行い、その結果を市及び区の関係機関へ速やかに報告しました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・各事業とも職員からの意見をもとに効率を高めるための問題を抽出し、必要に応じた改善を随時行いながら運営しています。
- ・所内のパソコンをネットワークに組むことで、各職員への情報提供がスムーズに行えるように運営しています。
- ・パソコン端末の使用を効率よく行うために複数名で共有して使用しています。
- ・事務所内に行動予定表を設置、職員の行動予定が一目でわかるようにし作業連携が効率よく確実に行えるようにしています。

ウ 苦情受付体制について

- ・地域住民又は介護保険利用者方から業務遂行上の苦情があった場合は、真摯な態度で受け止め、誠意をもって対応する姿勢を職員一人ひとりの教育に努めています。
- ・苦情対応責任者と、各事業に苦情受付担当を設置して公表しています。
苦情解決責任者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 所長：桑島 主税
地域活動交流受付担当者・・・・・・・・・・・・・・・・・ コーディネーター：神谷 由美子
地域包括支援センター受付担当者・・・・・・・・・・・・・・ 主任ケアマネジャー：池田 泰信
居宅介護支援事業受付担当者・・・・・・・・・・・・・・・・・ 管理者：星 勉
通所介護サービス受付担当者・・・・・・・・・・・・・・・・・ 管理者：横山 太一
認知症対応型通所介護サービス受付担当者・・・・・・・・・・・・ 管理者：山本 聡子
- ・苦情内容は記録として残し原因追求を図ることで、今後の対策を検討しています。
- ・重要課題については法人として設置している第三者委員会に連絡・相談の上、適切な対応・解決に結び付けられるように努力しています。
- ・地域利用者からの苦情やニーズ把握のため館内にご意見箱を設置しています。いただいたご意見の内容や解決策は広報紙等を利用して発表することもあります。

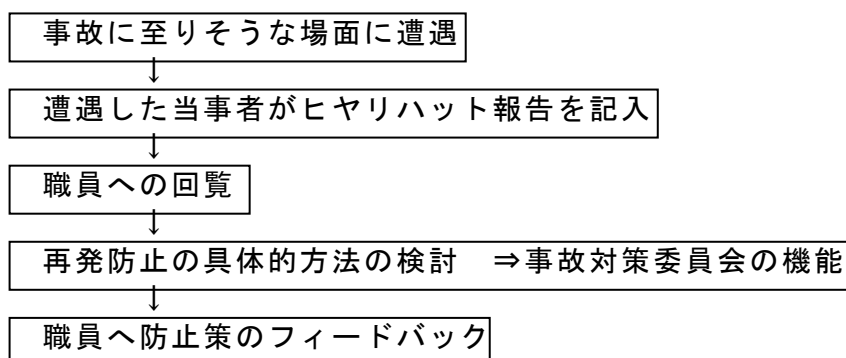
エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・防犯対策及び防災対策のマニュアルを基に職員の指導を行い、大規模な事故や災害等の緊急事態が発生した場合は、速やかに必要な措置を講じるとともに関係者等に対して緊急事態発生旨を通報するようにしています。
- ・近隣の八幡町交番、南警察署生活安全課と連携して不審者の来所等に対応できる体制を整えています。
- ・AED 機器を設置して職員研修を行うことで、救急時によりの確な対応が出来るように常に備えています。

オ 事故防止への取組について

- ・ 事故防止に関しては指定管理者受託法人内に事故対策委員会を設置しこれに取り組んでいます。また、サービス提供時に発生したヒヤリハットは下記のチャートの順にそのすべてを検討し、事故防止に関する重要な情報として活用しています。

* ヒヤリハット報告（インシデント報告）の活用サイクル



* 業務遂行時にヒヤリハット行為に敏感になり、多くの報告を提出することによって事故を未然に防ぐよう体制を整えています。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 年度当初に個人情報の取り扱いのルールについての研修を行うようにしています。
- ・ 個人ファイル等、個人を特定できる情報及び家族等特定の個人を識別できる書類は事業所内の施錠できる場所に保管して管理します。施錠管理については部門毎に責任者と所長が鍵を所持しています。
- ・ 個人ファイル等の個人情報は、直接担当者以外は許可を得ての閲覧としています。
- ・ 事業所外への持ち出しは原則禁止し、担当者会議等で持ち出さなければならない場合は所長または事業管理者の許可を得てから持ち出すこととしています。
- ・ 個人情報記載文書の FAX 送信、郵送時には個人情報部分をマスキングする等の注意を払います。また、デイサービスの連絡帳等のやり取りは複数の職員による点検を行い渡し相違がないようにしています。なお、FAX 送信時には相手先番号を 2 回確認しないと送信できないよう、機械的にも対応しています。
- ・ 保存期間を過ぎた個人情報は法人の定める規程により適正に処分しています。
- ・ 業務に使用するパソコン及び周辺機器に関しては指定管理者受託法人のパソコン使用規定に基づき個人情報漏洩事故防止しています。

キ 情報公開への取組について

- ・ 利用者本人又は契約書代理人より個人情報の開示、訂正等の申し出がある場合は法人規程に則り情報開示又は訂正の手続きをしています。
- ・ 事業計画及び事業報告の冊子を館内の情報ラウンジに閲覧できる状態で配置して施設の運営状況を公開しています。

・介護サービス情報公表制度を活用して積極的に事業内容の公開に努めています。

* 介護サービス情報公開制度

対象…居宅介護支援事業と通所介護サービスの介護保険事業。

ク 環境等への配慮及び取組について

・過剰な電力消費を抑制するため、昨年度に引き続き、共用部分の照明の半減、施設ライトアップの短縮、エアコン設定温度を確認できるように各所に温度計を設置して節電に努めています。

・人口密度が高く、道路幅の狭い地域なので、職員の訪問には自動車よりも徒歩や電動自転車を多用するようにしています。

・ゴミ出しの分別を徹底することにより、ゴミの減量とリサイクルに取り組みました。

・事務所内のデスクの使用方法を一部フリーアドレスとすることで内部資料の共有パソコンの共有、書類の削減を推進しています。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 : 常勤 1 名 (地域包括支援センター社会福祉士を兼務)
計画作成担当者 : 常勤 4 名 (地域包括支援センター経験ある看護師と兼務 1 名
主任介護支援専門員との兼務 1 名
専任の計画作成担当者 1 名 居宅介護支援事業所の
介護支援専門員との兼務)
事務職員 : 常勤 1 名 (居宅介護支援事業所、通所介護事業所との兼務)

《目標》

介護保険法等の関係法令等に従い、当該担当地域内に居住する利用者に対し、可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むために必要な介護予防サービスが適切に利用できるよう、利用者の選択に基づいて介護予防サービス・支援計画書(以下介護予防ケアプラン)を作成するとともに、当該経計画に基づいて適切な介護予防サービスの提供が確保されるよう、サービス事業者及び関係機関等との連絡調整、その他の便宜を提供しました。

《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

● 介護予防ケアプラン作成担当が通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合は、その交通費(実費)の支払いが必要となります。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

利用者の状態や要望によっては、規定された回数以上の訪問や担当者会議を実施して、利用者の家族と定期的に連絡を取り、利用者の状態を適時把握しています。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
131	137	140	134	138	134
10月	11月	12月	1月	2月	3月
142	144	145	139	136	139

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者：常勤 1 名（介護支援専門員を兼務）

介護支援専門員：常勤 5（専従 3 名、包括兼務 1 名、管理者兼務 1 名）

《目標》

介護保険法等の関係法令に従い、利用者に対し、可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むために必要な居宅サービスを適切に利用できるよう、利用者の選択に基づいて居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しました。

また、作成した計画に基づいて適切な居宅サービスの提供が確保されるよう、サービス事業者等との連絡調整を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

ケアマネジャーが通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要となります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①常勤の主任介護支援専門員が配置されている。
- ②常勤かつ専従の介護支援専門員を 3 名以上配置。
- ③利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的で開催しました。
- ④24 時間連絡体制を確保し、かつ、必要に応じて利用者等の相談に対応する体制を確保している。
- ⑤運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けていない。
- ⑥介護支援専門員 1 人当たりの平均利用者数が 40 人未満。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4	5月	6月	7月	8月	9月
213/44	210/44	213/40	216/38	219/40	217/39
10月	11月	12月	1月	2月	3月
212/47	160/34	162/35	161/34	161/31	156/32

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

介護保険法等の関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるようにサービスを提供しました。

- 健康チェックサービス ●送迎サービス ●送迎介助サービス
- 機能訓練サービス ●排泄介助サービス
- 入浴サービス ●入浴介助サービス ●食事サービス ●食事介助サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - (要介護1) 701円
 - (要介護2) 825円
 - (要介護3) 953円
 - (要介護4) 1,081円
 - (要介護5) 1,208円
- 食費負担 800円
- 入浴介助加算 53円
- サービス提供体制強化加算 I 13円 II 7円 (I、II いずれかを加算)
- 個別機能訓練加算 I 45円
- 介護職員処遇改善加算 I ご利用者負担合計金額の1.9%
- 一部行事費及び教養娯楽費 実費負担
- 交通費 (通常サービス提供地域以外でサービスを利用した場合)
 - 1キロにつき50円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:35~16:35

《職員体制》

- 管理者：常勤1名
- 生活相談員：常勤3名
- 看護職員：常勤4名 (機能訓練指導員を兼務)
- 介護職員：常勤13名、非常勤4名
- 事務職員：常勤1名 (居宅介護支援事業、介護予防支援事業との兼務)

《目標》

ご利用される皆様の身体機能の維持向上と心身のケアを目標にサービスを提供しています。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・サービスのプログラムを向上させるために、外部研修や内部研修、職員による勉強会等を実施しています。
- ・利用者や家族に対してアンケートを実施して課題を抽出し、サービス内容を改善しています。

《利用者目標(延べ人数)》

※ 単位は省略してください。 【単位：人】

《利用者目標(延べ人数)》

※ 単位は省略してください。 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1,031	1,034	992	1,014	1,013	1,003
10月	11月	12月	1月	2月	3月
985	985	987	898	907	916

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

介護保険法等の関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるようにサービスを提供しました。

- 健康チェックサービス ●送迎サービス ●送迎介助サービス
- 機能訓練サービス ●入浴サービス ●食事サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分（1ヶ月につき）
 - （要支援1） 2,230円
 - （要支援2） 4,465円
- サービス提供体制強化加算Ⅰ（要支援1）51円Ⅱ26円（ⅠⅡいずれかを加算）
- サービス提供体制強化加算Ⅰ（要支援2）102円Ⅱ51円（ⅠⅡいずれかを加算）
- 食費負担（1回利用ごとに） 710円
- 介護職員処遇改善加算Ⅰ ご利用者負担合計金額の1.9%
- 一部行事費及び教養娯楽費 実費負担
- 交通費（通常サービス提供地域以外でサービスを利用した場合）
1キロにつき50円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:35～16:35

《職員体制》

- 管理者：常勤1名
- 生活相談員：常勤3名
- 看護職員：常勤3名（機能訓練指導員を兼務）
- 介護職員：常勤13名、非常勤4名
- 事務職員：常勤1名（居宅介護支援事業、介護予防支援事業との兼務）

《目標》

ご利用される皆様の生活状況が、現状より低下しないように支援することで介護を必要としない健康的な在宅生活が継続できることを目標に、サービスを提供しました。

《その他》

- ・サービスのプログラムを向上させるために、外部研修や内部研修、職員による勉強会等を実施しています。
- ・利用者や家族に対してアンケートを実施して課題を抽出し、サービス内容を改善しています

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
54	86	103	104	115	116
10月	11月	12月	1月	2月	3月
123	119	99	87	49	88

● 地域密着 認知症対応通所介護事業

《提供するサービス内容》

介護保険法等に従い、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことが出来るように、認知症対応施設としてサービスを提供します。

- 健康チェックサービス ●送迎サービス ●送迎介助サービス
- 入浴サービス ●入浴介助サービス ●食事サービス ●食事介助サービス
- 機能訓練サービス ●排泄介助サービス ●アクティビティの提供

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

- (要介護1) 1,105円
- (要介護2) 1,224円
- (要介護3) 1,345円
- (要介護4) 1,465円
- (要介護5) 1,584円

- 食費負担 710円
- 入浴介助加算 54円
- サービス提供体制強化加算 I 13円 II 7円 (I、II いずれかを加算)
- 介護職員処遇改善加算 I ご利用者負担合計金額の2.9%
- 一部行事費及び教養娯楽費 実費負担
- 交通費 (通常サービス提供地域以外でサービスを利用した場合)
1キロにつき50円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:35 ~ 16:35 (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

- 管理者：常勤1名
- 生活相談員：常勤4名
- 機能訓練指導員：常勤2名・非常勤2名
- 介護職員：常勤2名・非常勤2名

《目標》

自立した生活が少しでも継続できるようにご利用者の心身状況の維持向上を目指すとともに、家族の介護負担の軽減を考慮したサービスの提供をしています。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・季節感を感じられるような行事・レクリエーションの提供をしています。
- ・少人数制による本人の特技や趣味を活かした活動を支援しています。

《利用者目標(延べ人数)》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
264	279	253	282	294	266
10月	11月	12月	1月	2月	3月
284	265	248	234	224	273

● 介護予防認知症対応型 通所介護事業

《提供するサービス内容》

介護保険法等に従い、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことが出来るように、認知症対応施設としてサービスを提供しています。

- 健康チェックサービス ●送迎サービス ●送迎介助サービス
- 機能訓練サービス ●入浴サービス ●食事サービス ●アクティビティ

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 956円

（要支援2） 1,067円

●食費負担 710円

● サービス提供体制強化加算Ⅰ 13円 Ⅱ 7円（Ⅰ、Ⅱ いずれかを加算）

● 一部行事費及び教養娯楽費 実費負担

● 交通費（通常サービス提供地域以外でサービスを利用した場合）

1キロにつき50円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:35 ~ 16:35（半角で入力 例9:00~15:00）

《職員体制》

管理者：常勤1名

生活相談員：常勤4名

機能訓練指導員：常勤2名・非常勤2名

介護職員：常勤2名・非常勤2名

《目標》

ご利用者の心身の安定を図るよう支援をして、認知症の進行を遅らせるサービス提供を行ないました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 季節感を感じられるような行事・レクリエーションの提供を行ないます。
- ・ 少人数制による本人の特技や趣味を活かした活動を支援します。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	0	0	0	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・ 民生委員児童委員協議会、保健活動推進員会、友愛活動部会に出席し情報交換を行いながら、ケアプラザの相談機能を伝えています。
- ・ 必要に応じて町内会、老人クラブの会合に出席し、相談を受ける機会としています。
- ・ 毎月、連合町内会長会に出席し広報紙の配布と共にその内容をお伝えし、担当地区全体で情報共有することのできる場として所長、コーディネーターが必ず出席し連合行事や各町内からの情報を収集しています。
- ・ 町内会の役員会へは必要に応じて出席し、町内会等で行われている地域活動には訪問し参加するなどして相談しやすい関係づくりを積極的に行っています。
- ・ 各団体の研修について企画のアドバイスや講師依頼のコーディネートなど開催のため支援を行いました。
- ・ 相談については速やかに行政、関連部門や担当者と連携して対応しています。
- ・ サークル活動や福祉保健活動の利用者との日常のコミュニケーションを大切な地域情報としてとらえます。また相談しやすい窓口対応を行っています。
- ・ ケアプラザの総合相談機能を含め、情報発信としてホームページの内容は毎月更新しました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ・ 地域活動交流が把握する情報や地域ニーズを地域包括支援センターの3職種と共有し4職種として協働するため月1回の定例会及び状況に応じて随時意見交換の行える環境を整えました。
- ・ 地域包括支援センター3職種の専門性と、地域活動交流の地域情報やつなぐ力とともに地域の生活者の視点を取り入れた自主事業を企画実施し、支援しました。
- ・ 高齢者サロン支援では「街の先生」を講師に招いて脳トレや介護予防のための健康講座、リハビリ体操を行いました。また介護保険などの制度についても要望に応じて説明しました。
- ・ 老人クラブや友愛訪問委員会には毎回出席するようにし、ケアプラザからお話をする時間をいただいて情報を伝えたりご質問をいただいたりする機会としました。内容は両部門で共有しました。

3 職員体制・育成

- ・ 所長、地域包括支援センター3職種、地域活動交流コーディネーターの常勤職員の欠員が発生しないように適切に配置します。
過去に地域包括支援センターの保健師職に3か月間の欠員があった時期がありました。これからも欠員が出ないように法人内の人事管理も含め、不測の事態においても、人員配置に支障がないよう人事体制を整えるよう努めます。
- ・ 法人本部主催で毎年1回、改善研究発表大会を開催して日常業務の成果を、報告発表する機会を設け職員の育成を進めています。
- ・ 法人本部人財部と連携して、管理者・中堅職員・初任者・準職員に分けて職務研修を実施しています。
- ・ 日常的恒常的な育成については各部門が協力し指導をしています。
具体的には始業時前後に10分程度の「ショートミーティング」の形態で実施していきます。
- ・ 随時必要な研修には職員を積極的に参加させるよう配慮しています。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・ 中村地区・地区別計画第3期の策定年度であったことから、様々な福祉保健団体や地域の活動団体が集まる機会が多く地域活動に関心を持っていただく良い機会になりました。地域の現状や課題を再検討し福祉ネットワークが強化されました。
- ・ 民生委員児童委員協議会、保健活動推進員会、地区社会福祉協議会、連合町内会、単位町内会、老人クラブの定例会や総会に出席し地域包括ケアシステムについて説明する機会としました。
- ・ 南区の地域活動ホームが主催するレインボーフェスタは浦舟、中村両エリア福祉施設、教育機関が実行委員となって開催するフェスタであり月1回の定例会で事業の企画運営のほか、情報交換の場として利用しました。
- ・ 地区社会福祉協議会との共催事業である中村地区内の施設、教育機関合同で行う施設連絡会の事務局としてまた、一福祉施設として参加しました。グループワークを行うプログラムなどにより密な情報交換ができました。

5 区行政との協働

- ・ 南区地域福祉保健計画第3期中村地区・地区別計画策定を地域主体で行うために区役所、区社会福祉協議会と連携して支援しました。
- ・ 高齢者支援、障がい児者支援、子育て支援に関する事業を行う際には、区の担当者に相談しながら、結果はメールや書面で状況報告しながら行いました。
- ・ 月1回の区役所、区社会福祉協議会、ケアプラザ定例連絡会にてそれぞれの部門からの報告と情報伝達のほか、地区社会福祉協議会や老人クラブその他の現状把握と課題の抽出を行いました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・毎月1回広報紙の発行、ホームページの更新、南区の子育てカレンダーの更新を行いました。広報紙は、地区内の掲示板、回覧板で配布し、南区内の施設、学校、病院などへ手持ちまたは郵送で配布しました。
- ・中村地区の福祉保健団体や老人クラブ、町内会の会合や登録団体の活動時には広報紙や講座のチラシを配布して説明する機会にしました。
- ・中村地域ケアプラザの登録団体連絡会を年2回開催し各団体からの要望や意見をお聞きしました。
- ・自主事業を企画するときには地域住民の希望や要望を取り入れたものにするため様々な機会をとらえてお話をお聞きしました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・毎月1日の貸館予約日には登録団体が広く公平にケアプラザを利用していただくため部屋利用日が重なった場合は話し合いにより譲り合うよう解決して頂きました。
- ・貸館の利用法や、部屋の空き情報を掲示して活動しやすくしました。
- ・地域内外のボランティアニーズ情報を収集し、マッチングした団体や個人の活動場所としてお伝えしました。
- ・横浜市シニアボランティアポイント講習会を開催したり、近隣の講習会の日程をお知らせするなどしたりして活動にやりがいを持っていただくよう支援しました。

3 自主企画事業

- ・中村地区・地区別計画の課題やニーズを念頭に企画するよう心掛けました。
- ・利用の多い高齢者世代向けの講座としストレスなく参加しやすいお食事会、手芸や、折り紙、フラワーアレンジメント講座などを企画し外出し、出会いの場としていただきました。
- ・子育て支援事業として、子育てサークル参加者から現在流行っていることや、やって欲しい事を直接聞いて事業の企画とともに講師役になってもらうなど協力していただきました。要望によりケアプラザ祭りでフリーマーケットのコーナーを新設しました。
- ・障がい児余暇支援では対象を小学生に限らず、中学生・高校生まで広げ、大人を含む誰でも参加可能な事業にすることになりました。アートで遊ぼうという企画のほか、簡単ランチを作って一緒に食べましょうという企画を地域の給食グループの協力で行いました。
- ・外国文化交流事業として、「タイの料理と文化」を行い料理や民族舞踊、日常生活について学び交流しました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・区社会福祉協議会を講師に招きボランティア講座を行いました。当面草むしりを行うボランティア育成のための事業でしたが、参加者の中で、子育て広場でお話会をする方、デイサービスで利用者と囲碁をしてくださる方がでて、ボランティア登録していただきました。
- ・地区社会福祉協議会共催で、ちょこっとボランティア草むしり隊グループを立ち上げ、中村地区内 6 名で 12 回活動しました。連絡会で草むしり以外の電球、電池の取り換えなど簡単なお手伝いもできるとの話から活動内容を拡大しました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・高齢者をはじめ地域住民の様々な相談を窓口対応及び、高齢者サロンなど地域の様々な場面で受け止め、相談内容を的確に把握して対応しています。
- ・相談内容に応じて適切な情報提供するとともに、関係機関や制度につなげ事業等に反映させています。
- ・地域包括支援センター内で法人内情報管理システムを使い、だれでもすぐに総合相談の内容が把握できる環境を作り、また週1回のミーティングを実施し総合相談の内容、特に困難ケース等の情報共有、対応の検討を行い、適切に継続フォローができる体制を作っています。
- ・高齢、障がい、子育て等各分野の相談対応を職員が一律にできるよう、マニュアルを整備しています。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・民生委員児童委員や友愛活動推進員、中村地区連合町内会の定例会の参加や地域で活動しているケアマネジャー等関係機関と定期的な意見交換を行い、顔の見える関係を維持しました。
- ・地域の高齢者サロンが定着してきており、毎回地域包括支援センター職員が参加し、支援を継続することで、サロンの担い手や参加者と安定した関係作りを通じて様々な情報が集まり共有することができました。
- ・「中村地区福祉関係機関・団体との連絡会」に積極的に参加し、中村地区圏域内の施設ネットワーク構築のための支援を行いました。
- ・地域ケア会議を定期的で開催して、担当職員、ケアマネジャー等福祉関係機関、医療機関、町内会役員や民生・児童委員等地域住民とのネットワークづくりに取り組みました。

実態把握

- ・総合相談の結果を踏まえた、圏域内の実態把握に努めてきましたが、行政資料等の各種統計資料等からデータとして地域の実態を「見える化」し、問題点やニーズの把握は充分に出来ず課題として残りました。
- ・地域からの相談や関係機関の情報を収集して地域の様々な課題を把握し、地域ケア会議につなげました。
- ・月1回、南区担当職員とケースカンファレンスを実施し、最新の地域情報を共有しています。
- ・地域ケア会議（地域包括支援センターレベル）を活用し、地域関係者と情報共有し、問題把握、課題解決のための意見交換を行いました。

2 権利擁護

権利擁護

- ・ 昨年の地域ケア会議を通じて、認知症高齢者と精神疾患のある方の世帯の支援が課題として浮き彫りになったことを受け、横浜市南区生活支援センターの所長を講師に、精神障害の方の支援についての勉強会を実施しました。
- ・ 個別相談時や高齢者サロン等機会を見つけて、成年後見制度の周知を行っています。
- ・ 認知症が進んだ方やそのご家族からの成年後見制度の相談を受け、申立支援や専門職の紹介を行っています。また、独居でご家族がいない方については、南区担当職員につなげ、区長申立の検討と、後見人が選任されるまで、生活が滞らないよう支援を行いました。

高齢者虐待

- ・ 虐待のケース、虐待のおそれのあるケースに関して、横浜市高齢者虐待防止事業の指針に基づいた対応をしています。
- ・ 虐待のケースに関して、状況が悪化しないよう、早期に南区担当職員と情報共有し担当のケアマネジャーも含めてケースカンファレンスを重ね、支援計画を作成し、それに基づきそれぞれの分担を決めて連携した対応をしています。
- ・ 介護者ストレスが高じて虐待に至ることを防ぐ意味から、いつでも介護者から相談を受けられるよう2か月に1回（年間6回）介護者サロンを実施しました。
- ・ 高齢者虐待防止の講座を地域の民生・児童委員、ケアマネジャー向けに、南区担当職員と地域包括支援センター職員が講師となり実施しました。

認知症

- ・ 認知症の正しい理解の促進のため、中村地区で活動している認知症キャラバンメイト（なかむらキャラバンメイトの会）の皆さんの活動を支援し、平楽会館で地域住民向けの講座、中村小学校・石川小学校で5年生向けの講座、平楽中学校で全校生徒向けの講座として、認知症サポーター養成講座を実施しました。
- ・ レインボーフェスタでは、中村・浦舟・睦地域ケアプラザ合同で、地域住民向けに認知症サポーター養成講座、パネル展示を行って、認知症の啓発啓蒙活動を行っています。
- ・ 認知症の人と介護者が安心して、地域で暮らせるよう介護者サロンを2か月に1回（年6回）開催して、ネットワーク構築に努めました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

- ・平楽、唐沢の高台のエリアでの二次予防把握のため、6月にカサ・デ・サンタマリアで「区版お元気で21健診」を実施しました。
- ・翌7月に低栄養予防講座を開催し、二次予防対象者のプログラム未利用者に対し、継続したフォローアップとして実施しました。
- ・地域包括支援センター版お元気で21健診と介護予防教室を連動させた取組として、11月にウオーキング、口腔ケア、栄養講座、認知症予防講座の4回シリーズで実施しました。

介護予防ケアマネジメント力

- ・二次予防事業対象者・要支援者の主体性・意欲を引き出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントを進めました。
- ・圏域内で委託をお願いしている居宅介護支援事業所のケアマネジャーとは、日常的に連携し、適切なケアマネジメントが出来るよう支援をしました。
- ・研修については、南区内地域包括支援センター、ケアマネジャー連絡会、近隣病院等の情報を収集し、サイボウズLiveを活用し情報提供をしました。
- ・圏域内で委託をお願いしている居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象に、H28/1/1より始まった日常生活支援総合事業の勉強会を実施しました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・圏域内での支援困難ケースに関して、民生・児童委員、友愛活動部員、町内会役員等と連携して対応し、南区担当職員、担当ケアマネジャー、医療機関、介護サービス提供事業所等と連絡を取りながら包括的・継続的支援が出来るよう取り組みました。
- ・今年度は、「支援介入困難なケース」をテーマに個別事例地域ケア会議を2回開催しその結果を踏まえ、地域で「孤立」を防ぐためどのようにすれば「つながりのある地域」が作れるかを地域で活動している関係機関やボランティア等の担い手の方に参加いただき、地域包括支援センター版の地域ケア会議を1回開催し情報共有・意見交換を行いました。
- ・民生委員児童委員協議会、町内会、地区社会福祉協議会等の会合に継続的に参加し、情報共有・交換をしました。
- ・サイボウズLIVEを活用し、エリア内外のケアマネジャー、事業所、医療機関等との情報共有を推進しました。

医療・介護の連携推進支援

- ・中村・睦地域ケアプラザ共催で、中村地区センターを会場に睦町クリニックの朝比奈医師を講師にお招きして、ケアマネジャー向けの「在宅医療・療養」の研修を実施しました。
- ・地域ケア会議に病院の医療ソーシャルワーカーをお招きして医療側の視点で助言をいただき、地域レベルでの医療職と介護職、地域住民との関係づくりを推進しました。
- ・南区在宅医療支援ネットワーク会の事務局メンバーとして運営に協力し、在宅医療連携拠点の会議体として進めています。
- ・南区医師会在宅拠点・在宅医療相談室主催のケアマネジャー向けの医療連携・多職種連携を目的とした事例検討会の開催に協力しました。

ケアマネジャー支援

- ・サイボウズLIVEを活用した、圏域内外の事業所とのネットワークを活用し、研修情報、法改正や法解釈等について情報共有をしました。
- ・南区内の地域包括支援センター合同でインシデントプロセス法を用いた事例検討会を開催し、ケアマネジャー支援をすすめています。
- ・南区内の地域包括支援センターと連携して、圏域内の新人ケアマネジャー研修を受け入れました。
- ・圏域内で活動するケアマネジャーのケアプランの確認・アドバイス等を行っています。
- ・電話や窓口によるケアマネジャーからの相談、助言を行っています。
- ・圏域内の三つの居宅介護支援事業所とは、9月にエリア居宅介護支援事業所連絡会を開催し、H28年3月に日常生活支援総合事業の勉強会を実施しました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・町内会役員、民生・児童委員、医療関係者、ケアマネジャーを招いて、2回の個別事例地域ケア会議を開催し、「支援介入困難ケース」を検討し、地域の課題「孤立化」として集約しました。それを基に、地域で「孤立」を防ぐためにどのようにすれば「つながりのある地域」が作れるかをテーマに地域包括支援センター版の地域ケア会議を開催し、それぞれの取組や課題を共有しました。
- ・南区在宅療養支援ネットワーク会の事務局メンバーとして運営に協力し、他職種間のスムーズな連携システム構築に努めました。

介護予防事業

介護予防事業

- ・ 地域活動交流担当と連携を取り、老人会やカサ・デ・サンタマリアで行われている食事会、自主活動グループに参加しました。その中で脳トレ・介護予防につながる健康の話をし、後方支援に努めました。
- ・ 今年度エリア内に2か所ある「元気づくりステーション」は、それぞれ「きんぎょうゆ」は自主活動移行期、「カサデはつらつ体操」は直営期として活動してきましたが、運営継続をすることが中心の支援となってしまう、参加者の高齢化もあり担い手がおらず、自主活動化に向けて計画的な支援には至りませんでした。
- ・ 介護予防普及啓発事業として、キュキュッとレディース中村の尿失禁予防体操の自主化グループに対して、知識の振り返りと新規参加者募集を目的に講座を開催しました。新規加入者の増員もできました。

その他

- ・ 第2期南区地域福祉保健計画中村地区計画も27年で最終年となり、第3期の計画策定のための振り返りと、第2期の活動を通じて発生した問題の抽出を進め、今後の取組に反映できるように努めました。
- ・ 中村地区社会福祉協議会の活動支援として、定期刊行物の作成編集印刷手配、中村地区ホームページの管理運営に貢献できました。
地域の福祉保健関連施設と地域団体連携強化にも取り組み、連携できる地域づくりに努め、現在も重点取組課題として継続的に取り組んでいます。

平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：中村地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知症対応型 通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	18,012	22,633	149	0	0	0	0	0
	介護保険収入	0	0	0	8,223	43,799	135,459	8,285	40,563
	その他	177	47	0	0	17	1,478	0	0
	その他の収入	177	47	0	0	17	1,478	0	0
	収入合計(A)	18,189	22,680	149	8,223	43,816	136,937	8,285	40,563
支出	人件費	12,813	22,706	0	996	30,372		83,401	27,800
	事務費	698	586	0	0	1,016		6,107	2,036
	事業費	464	814	149	0	310		10,732	3,577
	管理費	2,972	788	0	113	855		11,974	3,991
	その他	1,025	0	0	4,546	0		362	0
	その他の支出	0	0	0	0	0		362	0
	消費税	1,025	0	0	0	0		0	0
	委託料(予防プラン)	0	0	0	4,546	0		0	0
	支出合計(B)	17,972	24,894	149	5,655	32,553		112,576	37,404
	収支 (A)－(B)	217	△ 2,214	0	2,568	11,263		32,646	3,159

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(1) 子育て支援 ぽっかぽか広場	<p>【目的】 子育て支援についてインフォーマルサービスや自助サークルの少ない地域であるための拠点づくり将来自主活動できるサークルづくり。</p> <p>【内容】 中村地区社会福祉協議会共催事業として実施。地域で子育てしている養育者に対し保健活動推進員や主任児童委員が相談にあたるなど集いの場を提供しました。参加者同士が、育児や日常の話をしてリフレッシュできる場所となるように支援し仲間作りの場となるようにしました。</p>	毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(2) 子育て支援 公園支援者と公園で遊ぼう ふれんど	<p>【目的】 公園を会場として開催する子育て支援事業。外遊びを体験する支援事業。</p> <p>【内容】 中村地区の公園を会場として行う子育て支援事業。子育て支援者が子供と遊んだり、保護者、養育者に公園での外遊びを指導し体験して頂きました。また、子育てについての相談や、地域の子育てサークルの紹介をしました。</p>	毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(3) 子育て支援 へいらくひよこ クラブ	<p>【目的】 子育て支援についてインフォーマルサービスや自助サークルの少ない地域であるための拠点づくり将来自主活動できるサークルづくり。</p> <p>【内容】 丘陵地の為、他の地区へ出かけることの不便な場所の為、地域内の町内会館を利用し開催する子育てサロン。中村地区社会福祉協議会共催で実施し、地域で子育てしている養育者に対し地域の担い手グループや主任児童委員が相談にあたり、遊びの指導を行いました。また、参加者同士が、育児や日常の話をしてリフレッシュできる場所となるように支援し仲間作りの場となるようにしました。</p>	毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(4) 地域支援（放課後余暇支援事業 異世代、異文化、健常、障害児交流） なかむらアート クラブ	<p>【目的】 地域の子供たちの放課後余暇支援が目的。外国人教育生活相談所に通う子供たちや障がいのある子供もいっしょに集える場の提供。</p> <p>【内容】 担い手支援活動団体「アトラボオーバ」によるアート活動を基本に絵具や段ボールなどを自由に使って作品となるものは展示して楽しんでいただきました。日ごろさまざまな違った環境にいる子供たちが同じ空間で遊ぶ場を提供する。午後3時半から開催することで幼稚園のお迎えの帰りに立ち寄れる大人から子供までの集いの場となりました。</p>	毎月1回 計12回

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-2

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(5) 子育て支援 夏休み子ども教室	<p>【目的】 就園児、小学生と大人対象の長期休暇余暇支援</p> <p>【内容】 陶芸を体験してもらう機会を提供し、地域活動やボランティア活動を知っていただく機会とする。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(6) 子育て支援 レインボールームづくり	<p>【目的】 子育て中の親が参加しやすい諸芸講座として開催。</p> <p>【内容】 親世代や小学生幼稚園で人気のあるアクセサリを親が指導して行う講座で子供連れで参加できることもあり多くの参加がありました。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(7) 中村地区子育て3拠点合同クリスマス会春祭り	<p>【目的】 中村地区3拠点合同で行うことにより担い手の交流および参加者がそれぞれの拠点の子育て広場の様子を伝え合う場にしました。</p> <p>【内容】 お話し会ボランティアの紙芝居やエプロンシアター、絵本読み聞かせの後、お菓子作りサークルの協力で手作り菓子を用意しました。またカード作りや撮影会を行いました。春祭りでは桜のオブジェをみんなで完成させ記念撮影をしました。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(8) 子育て支援 パンとスープ講座	<p>【目的】 子ども連れでも参加可能な料理教室。</p> <p>【内容】 講座を企画したサークルのメンバーが調理室に隣接する部屋で保育をしながら参加できる。次年度（28年度）、自立サークルとなった後も子供連れ参加可能な講座を開催します。</p>	年4回

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-3

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(9) 障がい児余暇支援 ポップンハート	<p>【目的】 知的障害の小学生から大人までを対象とした余暇支援事業。</p> <p>【内容】 支援グループ アートラボオーバによるアートで遊ぶ。主任児童委員、地域ボランティアがお手伝いをして、各自思い思いに工作やお絵かきを楽しむ。</p>	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(10) 障がい児余暇支援 ポップンランチ	<p>【目的】 ポップンハートの参加者からの要望で簡単なランチづくりを行った。アート以外の体験をする事業。</p> <p>【内容】 障害者作業所で、給食活動を行っている団体の有志によりホットドックとスープ、デザートを作ってみんなで食べました。終了後、通常のポップンハートのアートに参加しました。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(11) 中村地区 社会福祉協議会 主催 「健康と福祉 七夕フェスタ」	<p>【目的】 地区社会福祉協議会が主催となり、横浜市地域福祉保健計画 中村地区計画の実践事業の支援。</p> <p>【内容】 中村地区社会福祉協議会が主体となる、なかむらふるさとづくり実行委員会が主催して行う健康と福祉フェスタ。中村地域ケアプラザの登録団体や地域住民によって企画運営をする。中村地区をふるさとにしようという目的。地域の子供たちが楽しく交流できるコーナーや各種模擬店を設け活動団体の活動発表を行う。地域包括支援センターによる健康測定コーナーも開設。</p>	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(12) 地域支援 健康と福祉 中村ケアプラザ 祭り	<p>【目的】 横浜市地域福祉保健計画 中村地区計画の実践事業。</p> <p>【内容】 健康と福祉フェスタ。中村地域ケアプラザの登録団体や地域住民によって企画運営をする。地域包括支援センターによる健康測定コーナー、食生活改善等委員会、地区社会福祉協議会共催で行いました。</p>	2月 1回

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-4

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(13) 中村地区社会福祉協議会支援 南いきいき中村地区の集い	<p>【目的】 地域の高齢者の生活活性化激励の意味をもつ、中村地区社会福祉協議会の交流会。</p> <p>【内容】 町内会ごとに参加者を数人ずつ招集し地区社会福祉協議会、ケアプラザの協力で演芸会やグループワークを行いました。グループワークは和やかな茶話会となりました。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(14) 中村地区社会福祉協議会施設連絡会	<p>【目的】 中村地区内にある福祉保健団体や町内会活動をする住民に対し地区社会福祉協議会の意味や地域との係わりについて学ぼうとする。</p> <p>【内容】 地区社会福祉協議会の年間事業計画に基づき開催しました。中村地区にある福祉施設、教育機関と区社会福祉協議会や地域支援活動者の連絡会として開催していますが、施設や教育機関と地元町内会とのつながりや協力し合えることなど、特に防災減災などのことについての話が多く出ました。第2期地域福祉保健計画最終年度ということで今までの総括的な話がありました。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(15) 中村地区社会福祉協議会 なかむらアカデミア	<p>【目的】 地区社会福祉協議会が地域で活動する福祉保健団体や住民の状況の中から地域課題として毎年研修会を行う。</p> <p>【内容】 今年度は「こどもの虐待」をテーマとしたので区のこども家庭支援課の職員を講師として、南区社会福祉協議会と一緒に企画しました。小学校でも役員が研修を受けているということで参考にしつつ充実した内容の研修会となりました。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(16) 中村浦舟地区福祉施設及び教育機関連携 レインボーフェスタ 認知症啓発コーナー	<p>【目的】 中村、浦舟、睦ケアプラザの地域包括支援センター、地域活動交流共催で行う認知症支援啓発活動。</p> <p>【内容】 レインボーフェスタ実行委員会のメンバーとして参加協力しブースをだす。</p>	年1回

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-5

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(17) 中村浦舟地区福祉施設及び教育機関連携 レインボーフェスタ フリーマーケット	<p>【目的】 中村、浦舟ケアプラザが協力しフリーマーケットコーナーを運営する。</p> <p>【内容】 レインボーフェスタ実行委員会のメンバーとして参加協力し会場設営、参加者受付や整備を行いました。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(18) 地域支援 なごみギャラリー	<p>【目的】 地域交流室を利用する登録団体の交流が目的。情報ラウンジ、廊下の壁面を利用して地域住民、ケアプラザ利用者の作品展を開催する。ボランティアの場を提供する。</p> <p>【内容】 中村地域ケアプラザ内の壁面や情報ラウンジを活用して作品の展示を行う。ケアプラザ外で活動している人や町内会で活動している人は情報を得て発表の場として利用していただく。今年度は近隣のティーサロンのギャラリーへの展示も協力しました。</p>	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(19) 地域支援 ボランティア育成 登録団体なごみの会	<p>【目的】 中村地域ケアプラザに登録し活動しているC団体の交流及び連絡会</p> <p>【内容】 中村地域ケアプラザからの連絡会。利用者、団体の利用活動についてお知らせをする。情報の提供や問題点や改善点について意見交換の場を持ちました。活動日や曜日が違って、日頃直接会えない団体同士の交流の場となっています。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(20) 地域支援 図書コーナー	<p>【目的】 情報ラウンジ横のふれあいコーナーの利用促進。また地域の方の憩いの場として誰でも予約なく利用しくつろげる場を提供する。</p> <p>【内容】 図書コーナーとして市立図書館から払い下げられた書籍を中心に子供の絵本などを設置していますので、大人から子供まで利用して頂きました。希望者には館外への貸し出しも行いました。</p>	通年

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-6

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(21) 高齢者と地域支援 フラワーアレンジメント講座	<p>【目的】 高齢者も気軽に参加できる講座。</p> <p>【内容】 地域の講師を招き花の名前や育て方、飾り方のコツなどを学びました。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(22) 高齢者支援 頭と体の健康講座シリーズ 脳トレ 0から始める折り紙サロン	<p>【目的】 折り紙という伝統的な子供のころから慣れ親しんだ素材を使って指先を使う脳トレサロン。</p> <p>【内容】 講師を招いて簡単な作品を学びながらおしゃべりをするお茶のみサロンですが、作品を制作するなど本格的になりました。簡単な体操やマッサージを作業前後に行うように提案しました。</p>	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(23) 高齢者支援 頭と体の健康講座シリーズ 手芸、文芸、歴史探訪お茶のみサロン	<p>【目的】 手芸講座を開催し高齢者の集まる機会を提供する。</p> <p>【内容】 南区街の先生の登録者や地域の指導者を招き、高齢者をはじめ地域住民の交流の場を提供しました。歴史については講師の都合で今年度は開催できませんでしたが手芸は様々な講師によりクラフトテープを利用したものやクラフト紙を使った紙工芸など高齢者が気軽に楽しめるものを用意しました。</p>	9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(24) 高齢者・地域住民支援 美文字講座	<p>【目的】 日中の事業に参加できない地域住民のための夜間帯開催事業。</p> <p>【内容】 街の先生登録講師による美文字を目指す講座。文字を美しく書くコツを学ぶほか、消しゴムで刻印を作成したり、鉛筆のほか 毛筆も行う。</p>	年11回

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-7

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(25) 高齢者支援 お茶のみサロン 5丁目はつらつ元気会	<p>【目的】 引きこもり防止と交流し顔なじみを作る場を提供する。</p> <p>【内容】 老人クラブに入会していない住民も参加しやすいサロンとして民生委員児童委員を中心にお茶のみサロンを開催しました。町内会館近くの高齢者住宅の住民や男性の参加もあり、楽しい脳トレを行っています。</p>	月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(26) 高齢者支援 介護者の集い中 村いきいき会	<p>【目的】 介護者のストレスを解消する場の提供。介護支援制度の情報提供や情報交換。</p> <p>【内容】 現在介護中、また今後のためにとの目的での参加者の交流。制度の話しや様々な福祉サービスについて情報提供をする。また介護施設の見学を行いました。今年度は区内の特別養護老人ホームを見学しました。</p>	年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(27) 高齢者支援 高齢者住宅住民 対象 お茶のみサロン らくらく	<p>【目的】 地域との交流が少ない住宅の住民に地域情報を提供したり介護予防のプログラムを実施する。</p> <p>【内容】 看護師や社会福祉士からの話や、レクリエーション、脳トレの為にクイズ、体操を行いました。町内会館の高齢者お茶のみサロンの開催により終了しました。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(28) お茶飲みサロン 三丁目 ほっとやすらぎ 会	<p>【目的】 高齢者住宅に住んでいる居住者の地域交流の場として提供し、顔の見える関係を作るきっかけの場とする。また健康についての話しや地域の情報を伝える場とする。</p> <p>【内容】 地区の民生委員児童委員や友愛訪問委員の協力をいただきながら、お茶のみサロンを行う。近況報告、脳トレや簡単な体操などを行います。都合で回数が限定されました。</p>	5月～3月 3回

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-8

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(29) 高齢者支援 あさひお茶のみサロン	<p>【目的】 引きこもり防止と交流し顔なじみを作る場を提供する。</p> <p>【内容】 老人クラブに入会していない住民も参加しやすいサロンとして民生委員児童委員を中心にお茶のみサロンを開催しました。町内会館近くの高齢者住宅の住民や男性の参加もあり、楽しい脳トレを行っています。</p>	月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(30) お茶飲みサロン ハイマート はばたき会	<p>【目的】 高齢者の引きこもり防止と仲間作りの場の提供</p> <p>【内容】 地区の民生委員児童委員や友愛訪問委員の協力をいただきながら、お茶のみサロンを行う。参加者の近況報告、簡単な体操などを行う。会の代表が企画運営をすることで定期的開催が行えています。会の要望によりケアプラザから資料や講師を提供しました。地域の住民の運営で行えるようになりました。会の参加登録者間の安否確認システムができています。(山谷ハイマートで開催)</p>	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(31) 高齢者支援 唐沢はつらつ体操教室	<p>【目的】 丘陵地域で、外出しにくい環境の高齢者の為の引きこもり防止と交流の場の提供</p> <p>【内容】 転倒骨折予防体操をレクリエーション体操と組み合わせておこなう高齢者体操教室として開催していますが、前半は「元気づくりステーション」として様々な介護予防プログラムを行いました。</p>	毎月2回 計24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(32) 高齢者・地域住民支援 スポーツ吹き矢体験講座	<p>【目的】 介護予防のスポーツとして開催</p> <p>【内容】 地域の老人クラブにスポーツ吹き矢の講師資格者がいることから老人クラブの活動として始めました。広く地域住民に広めたいとケアプラザを会場に体験講座を開催しました。</p>	年4回

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-9

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(33) 高齢者支援 頭と体の健康講座シリーズ ノルディックウォーキングサロン	<p>【目的】 アウトドアの事業としてノルディックポールを利用してウォーキングを行うサークルを立ち上げる。</p> <p>【内容】 区の老人クラブ連合会が勧めているノルディックポールを使用するウォーキングを取り入れ中村地域ケアプラザと中村地区老人クラブ連合会共催で実施しました。歴史散策や季節の花巡りなどし 実施前後は地域の体操指導者が準備、整理運動を行いました。年度最終回は専門講師に再度研修を行った。</p>	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(34) 高齢者・地域支援 足もみストレッチヨガ講座	<p>【目的】 高齢者も参加可能な自分のペースで参加できる健康体操講座。</p> <p>【内容】 町の先生に登録している講師の指導で つぼマッサージやストレッチ体操を行いました。</p>	年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(35) 高齢者・地域支援 南区・磯子区七福神めぐり	<p>【目的】 年中行事として地域の郷土史家とともに神社仏閣を散策する。</p> <p>【内容】 登録団体 中村歴史散歩の会共催で行う七福神めぐりをしました。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(36) 異文化交流 料理と文化講座	<p>【目的】 地域に暮らす外国人との交流を深め、互いの文化を知り共に協力支援しあう関係作り。その国の料理とともに歴史文化を学ぶ。交流のなかで違いや共通点を知り理解を深める。</p> <p>【内容】 多文化共生ラウンジに相談し、「タイの料理と文化」を開催しました。料理とともにダンスの披露もあり交流を深めました。</p>	年1回

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-10

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(37) 高齢者支援食事会 四季の会	<p>【目的】 独居または老人世帯、日中独居の地域の高齢者のための交流の場の提供と情報提供交換の場とし給食支援活動を行う。</p> <p>【内容】 民生委員また南区食生活等改善委員の地区担当有志による4ヶ月に1回の地域の食事会の開催ですが、地域に定着しています。食事会を利用して様々な広報の場としました。食事会の後はアトラクションや勉強会などを行いました。</p>	年4回
(38) 地域支援 異世代交流 だれでもランチ	<p>【目的】 ボランティア育成事業として開催した「男の料理教室」のメンバー有志のほか地域の給食ボランティアを担い手として地域住民の異世代交流のための支援活動として行う給食サービス。</p> <p>【内容】 男の料理教室で学んだ知識と技術によって地域住民誰でもが参加できる（年齢を問わない）食事会を開催し交流しました。多くは高齢者の参加でした。口コミでの参加者が次第に増えてきました。 広報の場として介護予防啓発事業のお知らせなどを行ったり、食事会のあとのアトラクションを企画するお手伝いをしました。</p>	年4回
(39) 高齢者、 障がい者支援 ボランティア養成講座	<p>【目的】 地域で活動する地域住民のボランティア育成。</p> <p>【内容】 ちょこっとボランティア育成講座として高齢者支援を含め地域住民の生活支援ボランティアを育成する講座を行いました。</p>	1回
(40) 高齢者障 がい児者世帯支 援 ちょこっと ボランティア活 動支援	<p>【目的】 地域の支援が必要な住民及び世帯の生活支援。</p> <p>【内容】 一人暮らし及び支援が必要な世帯の要望により草むしりなどの手伝いを有償でおこなうサークル。 年度内、第2四半期から開始しました。ボランティア登録者が少ないながら、草むしりの依頼が多く充実した活動となりました。今年度最終回の連絡会で草むしり以外の簡単なお手伝いも行うことにしました。</p>	随時

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-11

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(41) 高齢者地域支援 ボランティア育 成講座 デジタルカメラ 講座	<p>【目的】 写真撮影の基礎やコツを学び地域に出て季節の情景や祭り撮影など行う。将来的には広報紙やホームページの資料とする。取材ボランティア育成。</p> <p>【内容】 フォトグラファーの講師を招き、テーマを決めて撮影し、各自の写真を評価して頂き館内に展示しました。また近隣施設のギャラリーにも展示しました。</p>	3回
(42) 認知症サポ ーター養成講座	<p>【目的】 地域の住民や小中学校に通う生徒に向けて、認知症に対する正しい知識と認識を持っていただく。また認知症を発症しても暮らしていけるような地域の体制を作るための人材育成をする。</p> <p>【内容】 中村地区で結成された中村キャラバンメイトの会により、小中学校、町内会、中村地区センターなどで実施しました。</p>	4回
(43) 地域支援 地域で支える 心の病を考える	<p>【目的】 地域で暮らす心に障害のある住民とそのご家族をどのように見守りまた支援できるかを考える。</p> <p>【内容】 生活支援センター所長を講師に地域の福祉活動関係者や関心のある住民とグループワークを行いながら話し合いました。</p>	年1回
(44) 地域支援 権利擁護講座 みんなで防ごう 高齢者虐待	<p>【目的】 高齢者が増加する中、認知症を発症する割合も増えている。家族が介護疲れなどから虐待と認識しないままそのような状態に陥るケースがある。虐待の定義を知り、起こらないようにするにはどうすればよいかを話し合う。</p> <p>【内容】 講師を招き虐待とはどのような状態を指すのかなどをDVDと講義により学びました。</p>	年1回

平成27年度 自主事業報告書

横浜市中村地域ケアプラザ

-12

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(45) 高齢者支援 シニアボランティアポイント 取得講座	<p>【目的】 ボランティアを行うことでポイントを取得できる高齢者の生きがい支援のための講座。</p> <p>【内容】 65歳以上の高齢者対象事業で、講座を受講しポイントカードを取得していただく。ボランティアを行うごとにポイントを取得できる。</p>	年2回

平成27年度 自主事業収支報告書

1

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
(1) 子育て支援 ぽっかぽかひろば	養育者及び乳幼児	6,720	6,720	0	0	0	6,720
	134名						
	¥0						
(2) 子育て支援 公園遊び ふれんど	養育者及び乳幼児	0	0	0	0	0	0
	138名						
	¥0						
(3) 子育て支援 へいらくひよこクラブ	養育者及び乳幼児	0	0	0	0	0	0
	170名						
	¥100						
(4) 子育て支援 なかむらアートクラブ	子ども・青少年	148,799	148,799	0	133,410	8,669	6,720
	320名						
	¥0						
(5) 子育て支援 夏休み子ども教室(陶芸)	子ども・青少年	0	0	0	0	0	0
	60名						
	¥500/回						
(6) 子育て支援 レインボールームづくり	養育者及び乳幼児	6,122	3,822	2,300	0	6,122	0
	37名						
	¥100						
(7) 子育て支援 子育て3拠点合同クリスマス &春祭り	養育者及び乳幼児	5,699	5,699	0	0	5,699	0
	141名						
	¥0						
(8) 子育て支援 パンとスープ講座	子ども・青少年	42,303	22,503	19,800	16,665	25,078	560
	63名						
	¥300						
(9) 障がい児余暇支援 ポップンハート	障害児・者	80,416	64,416	16,000	66,692	10,364	3,360
	67名						
	¥500/回						
(10) 障がい児余暇支援 ポップンランチ	障害児・者	10,631	8,231	2,400	5,555	5,076	0
	8名						
	¥300/回						
(11) 中村地区社会福祉協議会主催 「健康と福祉七夕フェスタ」	地域	21,234	21,234	0	0	21,234	0
	—						
	—						
(12) 地域支援 健康と福祉 中村ケアブラ冬祭り	地域	47,730	8,960	38,770	0	47,730	0
	—						
	—						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成27年度 自主事業収支報告書

2

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
(13) 中村地区社会福祉協議会支援 南いきいき中村地区のつどい	高齢者						
	87名	0	0	0	0	0	0
	—						
(14) 地域地区社会福祉協議会支援 中村地区施設連絡会	地域						
	24名	0	0	0	0	0	0
	—						
(15) 地域地区社会福祉協議会支援 なかむらアカデミア	地域						
	40名/1回	0	0	0	0	0	0
	—						
(16) レインボーフェスタ 認知症啓発コーナー	地域						
	—	0	0	0	0	0	0
	¥0						
(17) レインボーフェスタ フリーマーケット	地域						
	—	0	0	0	0	0	0
	¥0						
(18) 地域支援 なごみギャラリー	地域						
	—	0	0	0	0	0	0
	¥0						
(19) 中村地域ケアプラザ登録団 体連絡会「なごみの会」	地域						
	118名	3,599	3,599	0	0	3,599	0
	¥0						
(20) 地域支援 図書コーナー	地域						
	—	0	0	0	0	0	0
	¥0						
(21) 高齢者・地域支援 フラワーアレンジメント講座	高齢者・地域						
	29名	10,168	10,168	0	6,666	3,502	0
	¥800/¥1500						
(22) 高齢者支援 頭の健康講座 折り紙サロン	高齢者						
	47名	22,150	14,950	7,200	19,998	2,152	0
	¥300						
(23) ボランティア育成 クイリング写真立て/Xmas カード講座	高齢者・地域						
	12名/2回	2,909	1,109	1,800	0	2,909	0
	200/¥100						
(24) ボランティア育成 星型トレイ講座	高齢者・地域						
	13名	3,130	1,330	1,800	0	3,130	0
	¥200						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成27年度 自主事業収支報告書

3

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
(25) 高齢者支援 頭の健康講座 組みひも講座 マクラメ編み講座	高齢者	0	0	0	0	0	0
	13名/2回						
	¥0						
(26) 高齢者支援 頭の健康講座 クラフトかご 作り	高齢者	11,437	3,437	8,000	3,333	8,104	0
	12名/6回						
	¥800						
(27) 高齢者・地域住民支援 美文字講座	高齢者	0	0	0	0	0	0
	115名						
	¥500						
(28) お茶飲みサロン 五丁目 はつらつ元気会	高齢者	0	0	0	0	0	0
	15名/回						
	¥100						
(29) 包括共催 介護者の集い なかむらいいきいき会	高齢者	0	0	0	0	0	0
	5名/回						
	¥100						
(30) 高齢者住宅 お茶のみサロン らくらく	高齢者	0	0	0	0	0	0
	10名/2回						
	¥100						
(31) お茶飲みサロン 三丁目 ほっとやすらぎ会	高齢者	0	0	0	0	0	0
	15名/回						
	¥100						
(32) お茶飲みサロン 1丁目 あさひお茶のみサロン	高齢者	0	0	0	0	0	0
	15名/回						
	¥100						
(33) お茶飲みサロン ハイマート はばたき会	高齢者	0	0	0	0	0	0
	10名/回						
	¥200						
(34) 高齢者支援 唐沢はつらつ体操教室	地域	0	0	0	0	0	0
	10名/12回						
	年¥1000						
(35) 高齢者・地域支援 スポーツ吹き矢体験講座	地域	0	0	0	0	0	0
	34名/4回						
	¥500						
(36) 高齢者・地域支援 ノルディックウォーキングサ ロン	高齢者・地域	7,249	7,249	0	5,569	0	1,680
	111名						
	¥0						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成27年度 自主事業収支報告書

4

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
(37) 高齢者支援 足もみストレッチヨガ講座	地域	47,718	27,618	20,100	46,710	1,008	0
	97名						
	¥500/1回						
(38) 高齢者・地域支援 南区・磯子区七福神めぐり	地域	0	0	0	0	0	0
	18名						
	¥0						
(39) 異文化交流 料理と文化講座	地域	19,606	9,206	10,400	5,555	14,051	0
	15名						
	¥800/回						
(40) 高齢者支援食事会 四季の会	高齢者	0	0	0	0	0	0
	212名						
	¥300						
(41) 異世代交流食事会 だれでもランチ	地域	0	0	0	0	0	0
	113名						
	¥300						
(42) 高齢者・地域支援 ちよこつとボランティア育成講座	地域	0	0	0	0	0	0
	20名						
	¥0						
(43) 高齢者・地域支援 ちよこつとボランティアサークル育成と活動支援	地域	15,223	15,223	0	0	13,723	1,500
	48名						
	¥0						
(44) 高齢者ボランティア育成支援 デジタルカメラ講座	地域	72,002	59,502	12,500	66,666	4,776	560
	43名						
	¥500/回						
(45) 高齢者支援 認知症サポーター養成講座 キッズサポーター養成講座	地域	0	0	0	0	0	0
	400名						
	¥0						
(46) 障害者・地域支援 地域で支える 心の病を考える	地域	0	0	0	0	0	0
	25名						
	¥0						
(47) 高齢者・地域支援 権利擁護講座 みんなで防ごう高齢者虐待	地域	0	0	0	0	0	0
	15名/12回						
	¥0						
(48) 高齢者・地域支援 シニアとボランティア育成講座	地域	0	0	0	0	0	0
	11名						
	¥0						

事業ごとに別紙に記載してください。